

宮 城 県  
東 北 地 方 整 備 局  
仙 台 管 区 気 象 台  
東 北 学 院 大 学

## 宮城県の市町村を対象に防災対応ワークショップを開催します ～大雨等の防災対応力向上を目指して～

宮城県、東北地方整備局、仙台管区気象台及び東北学院大学は、県内市町村の大雨等の防災対応力向上のため、四者で連携して、関係機関の最新の取組を踏まえたワークショップを開催します。今年で10年目になります。

近年、全国で相次ぐ自然災害とその対応を踏まえ、宮城県、東北地方整備局、仙台管区気象台では防災・減災に向けた様々な取組を展開しているところです。また、東北学院大学地域総合学部では、防災教育分野での人材育成を推進しています。

線状降水帯による大雨や台風の接近が増えるこれからの季節に備え、関係機関と市町村が防災対応に係る支援体制等を確認し、共に考え連携を強化することで地域の防災力を高めることを目的に、県内各市町村の防災担当者等を対象としたワークショップを下記のとおり開催します。

### 記

名称：令和8年度宮城県市町村防災対応ワークショップ

日時：令和8年6月26日（金）10時00分～16時30分

場所：宮城県庁1階 101会議室

（宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号）

内容：「タイムラインに沿った防災対応」

ファシリテーター 東北学院大学 地域総合学部

定池 祐季 准教授

取材：当日はワークショップの様態を公開します。取材を希望される場合は、社名、氏名及び人数を6月23日（火）12時までに以下の問い合わせ先までお知らせください。令和7年度のワークショップの様子は、別紙をご覧ください。

以上

【問い合わせ先】仙台管区気象台 気象防災部  
地域防災推進課 辻・高橋  
電話 022-290-5712/022-290-5715

(別紙)

## 宮城県市町村防災対応ワークショップの取材の様子（令和7年度）

宮城県市町村防災対応ワークショップでは、県内市町村の防災担当者等を対象に、地域の防災力向上を目的に、毎年開催しております。昨年度（令和7年度）の取材の様子は以下のとおりです。昨年度も多くの報道機関に取材いただいております。

【共催機関】宮城県、東北地方整備局、仙台管区气象台、東北学院大学

【参加対象者】宮城県内市町村の初任及び中堅防災担当職員

【内容】

大雨が本格化する前から、大雨による災害発生後の一連の防災対応について、参加者はグループに分かれて、関係機関が行う支援を理解・活用しながら、避難情報の発令等の必要な対応を検討した。

【当日の様子】

（議論の様子・取材の様子）



（共催機関への取材）

